

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（11月号）

1. JAグループ鳥取の取り組み

① 県知事懇談で食農教育など6項目を要望

JAグループ鳥取は11月4日、鳥取市で平井県知事と農政懇談会を開き、JA・連合会の代表らが出席した。県に対し、県内小・中学校における「国消国産」運動に根差した食農教育の深化に向けた取り組みや、生乳生産量6万トン維持及び高品質牛乳生産のための生産施設整備への支援など6項目を要望した。

平井県知事は「新型コロナ禍で農業振興などJAグループの果たす役割は大きい。県内農業を守り、育てていくためにも引き続き、JAと協力していきたい」と述べた。

JA鳥取県中央会の栗原会長は「県独自の支援に感謝する。今後も生産者の不安を払拭するよう、高収益作物次期作支援交付金や需要に基づく主食用米生産の対策など、国への早期の働き掛けをお願いする」と話した。

② 特産品で応援！ 県中学校駅伝

JAグループ鳥取は、地域教育の一環として、11月11日に県中学校体育連盟が米子市で開いた県中学校駅伝競走大会に協賛し、県産米など県内農産物の提供を通じて、次代を担う若者を応援した。

大会には男女34チームが出場し、JA鳥取県中央会の栗原会長が女子の部のスターターを務めた。

男女優勝チームに県のオリジナル品種米「星空舞」や決勝ゴールテープを提供し、生徒数150人以内で優勝を除く最高位の学校に「わかば賞」として梨「王秋」を贈った。



男子の部で優勝した八頭町立八頭中

2. JA全農ととりの取り組み

令和2年産「星空舞」新米イベントを開催

JR大阪駅アトリウム広場にて10月24日、県のオリジナル品種米である「星空舞（ほしぞらまい）」の令和2年産新米の販売PRをルクア大阪店と連携し開催した。

イベントでは「星空舞」期間限定商品の展示コーナーや期間限定販売の「星空舞パックご飯」や「星空舞甘酒を使った限定ドリンク」「その他鳥取県産農産物加工品」などが紹介された。

また、星空舞商品購入者対象のプレゼントコーナーとして、購入レシートの金額に応じ、「星空舞」グッズなどをプレゼント（「星空舞」ロゴ入りしゃもじ、トートバッグなど）する企画や、「星空舞」クイズラリーなども開催した。

さらに、イベント会場では現在放映されている星空舞テレビCMや平井県知事出演のPR動画の放映がされ、「星空舞」の令和2年産新米を大消費地の皆さまにお届けした。



イベント会場



阪急オアシス（ルクア大阪店）での販促

3. JA鳥取信連の取り組み

メイン強化先への訪問活動の取り組みについて

JAバンク鳥取では、将来にわたり関係を強化・再構築すべき農業者（個人・法人）をメイン強化先と位置付け、営農部門と信用部門（必要に応じて信連農業金融センター）と連携・同行訪問を行っている。

訪問活動では、農業者の現状・経営上の課題・JAへの意見要望や競合他社の動向等をヒアリングし、メイン強化先の営農改善・フォローアップを図るほか、顧客の資金等ニーズの的確な把握、アンケート調査実施と結果の活用により、顧客満足（CS）の向上を図ることとしている。

今年度もメイン強化先に対し年2回の訪問を基本としている。今年度上期実績では、県下のメイン強化先207先を訪問し、下半期においては、アンケート調査の実施と訪問により関係の強化を図っていく。

4. JA共済連鳥取の取り組み

ホテルモナーク鳥取、羽衣が提供する「地産地消メニュー」の充実化

JA共済では、ホテルモナーク鳥取、羽衣において、地域貢献活動の一環として県産食材を使用した地産地消料理を企画・販売しているが、今回新メニューが追加となった。

ホテルモナーク鳥取では、「鉄板焼きプラン」が9月より販売が開始となり、移動式ステーキワゴンを用いて、お客様の目の前でシェフが鳥取和牛などを焼き上げ、音や香りも楽しむことができるメニューとなっている。また、羽衣においても、「鳥取和牛ステーキ会席」と「牛づくし会席」が8月より販売が開始となり、両施設とも地産地消メニューの充実化を図っている。

また、両施設では、「Go To トラベルキャンペーン」が利用可能となっており、さらにホテルモナーク鳥取のパトリエでは、「とっとりGo To Eat キャンペーン」プレミアム食事券が利用可能となっている。



ホテルモナーク鳥取 地産地消メニュー
『鉄板焼きプラン』



羽衣 地産地消メニュー
『鳥取和牛ステーキ会席・ふるさと』